



5年生は、国語の「見つけ学習」の様子をお知らせします。文章の中の心に残った部分に着目し、自分の考えや思いを伝えることができました。友達の意見を「聞く」態度も成長しました。

◎見つけ学習で大切にしたこと

国語の授業では、物語文や、説明文で見つけ学習を行いました。物語文では「心に残ったところ」、説明文では「すごいところ」を場面ごとに見つけて線を引き、その部分について、思ったことや考えたことを書きました。

意見共有の場では、友達の話を聞く態度を特に大切にしました。話す人に体を向けて聞くことや、友達の意見に頷いて「ああ！」「なるほど！」「たしかに！」など、声を出して反応することで、全員が安心して意見が言える学習環境づくりを進めました。



また、授業の中では、音読活動に力を入れました。自分のペースで音読を進める「自由読み」、一人一文ずつ本文を友達とつなげて読み進める「リレー読み」を必ず行いました。はじめは声の小さかった子も、音読にだんだんと慣れていくうちに、気持ちのよい大きさや言葉の表現ができるようになりました。



音読活動の後には、心に残った文章と、その部分に対して思ったことをできるだけ多くの子で発言し、意見の共有を行いました。友達と同じ文章や友達と同じ考えだったときでも、きちんと意見を言うことにし、同じだったときや似ている意見には赤色のチョークで意見同士をつないだり、文章を協調するような板書をしました。友達と全く同じ意見でも安心して発言できる環境を工夫しました。

授業のまとめの場では、子どもたちから出てきた考えを深める「深めポイント」を設定して、さらに意見を出し合うことで、自分一人では気付かなかったことに気付いたり、友達の意見に共感したりして、考えを深めました。深めポイントでは、前半の意見共有の場が出た友達の意見を引用しながら発言する子が増え、クラス全員で授業を作っていく意識が高まりました。

